

# 調査依頼書 (CentreCOM® FS708XL)

年 月 日

## 一般事項

1. 御社名： \_\_\_\_\_
- 部署名： \_\_\_\_\_ ご担当者： \_\_\_\_\_
- ご連絡先住所： 〒 \_\_\_\_\_
- TEL： ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ FAX： ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_
2. 購入先： \_\_\_\_\_ 購入年月日： \_\_\_\_\_
- 購入先担当者： \_\_\_\_\_ 連絡先(TEL)： ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

## ハードウェアとネットワーク構成

### 1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)

製品名： CentreCOM FS708XL



2. お問い合わせ内容 \_\_\_\_\_ 別紙あり \_\_\_\_\_ 別紙なし \_\_\_\_\_
- 設置中に起こっている障害 \_\_\_\_\_ 設置後、運用中に起こっている障害 \_\_\_\_\_

### 3. ネットワーク構成図 \_\_\_\_\_ 別紙あり \_\_\_\_\_ 別紙なし \_\_\_\_\_

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

# ファーストイーサネット・スイッチ CentreCOM® FS708XL ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS708XLをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーションポートを8ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。  
本製品の使用により、既存のネットワークにおけるアプリケーションやネットワークソフトウェアの変更を必要とせずに、簡単にパフォーマンスを向上させることができます。  
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、お読みになった後も大切に保管してください。

- ### 特長
- 4096 個の MAC アドレステーブルをサポート
  - ディップスイッチにより、オートネゴシエーションモード/手動設定モードの選択が可能
  - ディップスイッチにより、ポートごとに 10Mbps/100Mbps、Half Duplex/Full Duplex の手動設定が可能
  - 100Mbps から 10Mbps への転送時にパケットの損失を防ぐバックプレッシャー機能をサポート (Half Duplex で動作時)
  - プッシュスイッチにより切替可能なカスケードポートを装備
  - 信頼性の高いストア&フォワード転送方式
  - AC 電源を内蔵
  - ポートごとの通信状況が一目でわかる LED を装備

- ### 梱包内容
- 最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。
- CentreCOM FS708XL 本体
  - 電源ケーブル(AC100V ~ 120V 用)
  - 製品保証書(3年保証)
  - 製品仕様書(英文)
  - お客様インフォメーション登録カード
  - シリアル番号シール
  - ユーザーマニュアル(本書)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。  
再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

- ### 各部の名称と機能
- POWER LED(緑)**  
電源が正しく供給されているときに点灯します。
- 100M/FDX LED(緑)**  
LEDモード切替スイッチが「100M」に設定されているときはポートの通信速度(10Mbps/100Mbps)「FDX」に設定されているときはポートの通信モード(Half Duplex/Full Duplex)を表示します。
- 100M**  
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。  
ポートが10Mbpsで動作しているときは点灯しません。
- FDX**  
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。  
ポートがHalf Duplexで動作しているときは点灯しません。
- LINK/ACT LED(緑)**  
ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。  
また、ポートがパケットを送受信しているときに点滅します。
- オートネゴシエーションスイッチ**  
オートネゴシエーション機能のON/OFFを設定するためのスイッチです。  
出荷時設定は「ON」(下)です。
- このスイッチの設定は全ポートに適用されます。**  
このスイッチの設定は電源を入れなおすことによって有効になります。  
電源を入れたままスイッチを切り替えても、設定は変更されません。
- OFF(上)**  
「OFF」に設定すると、ポートモード設定スイッチによって、通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Half Duplex/Full Duplex)を、ポートごとに手動で設定できる状態になります。

- このスイッチを出荷時の設定から初めて「OFF」側に電源を入れなおした場合に限り、全ポートの通信モードと通信速度が何も設定されずに、通信ができない状態となります。**一度、ポートモード設定スイッチによって、手動で通信モードと通信速度を設定した後は、電源を入れなおしても、ポートモード設定スイッチの最終設定が有効となり、通信ができない状態は発生しません。
- ON(下)**  
「ON」に設定すると、接続先の機器に応じて通信モード(Half Duplex/Full Duplex)と通信速度(10Mbps/100Mbps)を自動検出して、最適な状態で接続します。
- LEDモード切替スイッチ**  
100M/FDX LEDで通信速度(10Mbps/100Mbps)を表示させるか、通信モード(Half Duplex/Full Duplex)を表示させるかを設定するためのスイッチです。  
出荷時設定は「100M」(上)です。
- 100M(上)**  
100M/FDX LEDで通信速度(10Mbps/100Mbps)を表示させます。
- FDX(下)**  
100M/FDX LEDで通信モード(Half Duplex/Full Duplex)を表示させます。

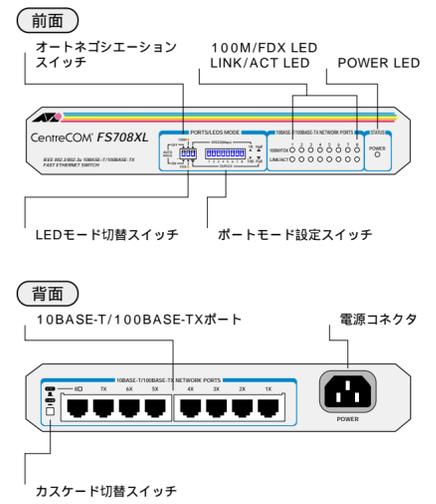
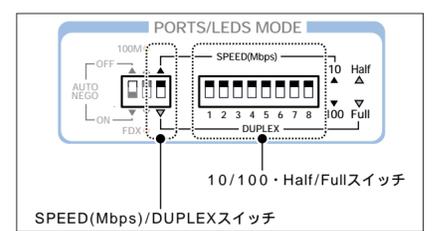


図1 外観図

- ポートモード設定スイッチ**  
ポートの通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Half Duplex/Full Duplex)を手動で設定するためのスイッチです。  
出荷時設定は「SPEED(Mbps)」(上)、および「10」、「Half」(上)です。
- このスイッチはオートネゴシエーションスイッチが「OFF」に設定されている場合のみ有効となります。**  
このスイッチは、1つのSPEED(Mbps)/DUPLEXスイッチとポートごとの8つの10/100・Half/Fullスイッチの2種類のスイッチで構成されています。  
10/100・Half/Fullスイッチは、通信速度の10Mbps/100Mbpsと通信モードのHalf Duplex/Full Duplexの2種類の切り替えを1つのスイッチで兼用して行います。  
10/100・Half/Fullスイッチの切り替えを通信速度として設定するか、通信モードとして設定するかは、SPEED(Mbps)/DUPLEXスイッチによって決定します。



- 10/100・Half/Fullスイッチ  
通信速度の場合は「10」(上)、「100」(下)の切り替え、通信モードの場合は「Half」(上)、「Full」(下)の切り替えをポートごとに行います。
- このスイッチは、ポートごとに10Mbps/100Mbpsの選択、またはHalf Duplex/Full Duplexの選択を行うためのものです。**、このスイッチを切り替えただけでは設定は有効になりません。
- Half/Fullの切り替えは、SPEED(Mbps)/DUPLEXスイッチが「SPEED(Mbps)」(上)側にある状態で行います。  
SPEED(Mbps)/DUPLEXスイッチを「DUPLEX」(下)側に切り替えた時点で、Half/Fullの設定が全ポート同時に有効となります。  
10/100の切り替えは、SPEED(Mbps)/DUPLEXスイッチが「DUPLEX」(下)側にある状態で行います。  
SPEED(Mbps)/DUPLEXスイッチを「SPEED(Mbps)」(上)側に切り替えた時点で、10/100の設定が全ポート同時に有効となります。

**SPEED(Mbps)/DUPLEXスイッチ**  
10/100・Half/Fullスイッチの状態を通信速度として設定するか、通信モードとして設定するかを決定します。  
通信速度として設定を有効とするには、「DUPLEX」(下)側から「SPEED(Mbps)」(上)側へ切り替えます。  
通信モードとして設定を有効とするには、「SPEED(Mbps)」(上)側から、「DUPLEX」(下)側へ切り替えます。

**10BASE-T/100BASE-TXポート**  
10BASE-T/100BASE-TXのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。  
ポート8は、カスケード切替スイッチによって、カスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定することができます。

**カスケード切替スイッチ**  
カスケードポート(ポート8)をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。  
出荷時設定は「X PC」(スイッチが飛び出している状態)です。

= HUB (スイッチが押し込まれた状態)  
カスケード接続をするときのカスケードポート(MDI)として使用します。

X PC (スイッチが飛び出している状態)  
通常の10BASE-T/100BASE-TXポート(MDI-X)として使用します。

**電源コネクタ**  
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。

## 設置するまえに

**設置場所**  
本製品を設定する場所については、次の点にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体側面をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機などの側に設置しないでください。

**電源**  
本製品をAC100V ~ 120Vの電源電圧で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。  
また、指定された電源電圧以外で使用しないでください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

## 接続のしかた

### ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。  
本製品と端末を接続するケーブルの長さ、また、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内にしてください。  
また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

### 起動と停止

電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みと起動します。  
電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。

- 本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- 電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、ソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

### 通信速度と通信モードの設定

ポートの通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Half Duplex/Full Duplex)は、接続先の機器を確認して、次の表の印の組み合わせになるように設定してください。

| CentreCOM FS708XL |           |          |           |           |       |
|-------------------|-----------|----------|-----------|-----------|-------|
|                   | 10M Half  | 10M Full | 100M Half | 100M Full | オートネゴ |
| 接続先               | 10M Half  |          |           |           |       |
|                   | 10M Full  |          |           |           |       |
|                   | 100M Half |          |           |           |       |
|                   | 100M Full |          |           |           |       |
| オートネゴ             |           |          |           |           |       |

表 1 接続先の機器との組み合わせ

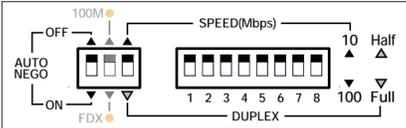
### 通信速度と通信モードの設定手順

接続先の機器がオートネゴシエーションをサポートしていない場合、本製品のオートネゴシエーションスイッチを「ON」に設定していると、「10M Full」および「100M Full」での接続ができなくなります。  
この場合は、ポートモード設定スイッチを使用して、本製品の通信速度と通信モードをポートごとに手動で設定します。

ここでは、ポートモード設定スイッチを使用して、出荷時設定の状態から、各ポートの通信速度と通信モードを手動で設定する方法を説明します。

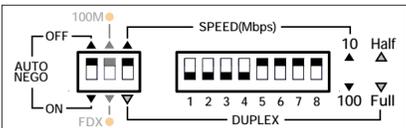
例として、ポート1～4を「10M Full」、ポート5～8を「100M Half」に設定します。

- オートネゴシエーションスイッチを「OFF」(上)側にし、電源を入れなおします。

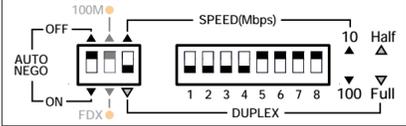


- オートネゴシエーションスイッチを出荷時の設定から初めて「OFF」側にし電源を入れなおした場合に限り、全ポートの通信モードと通信速度が何も設定されずに、通信ができない状態となります。(この状態にあるときに、100M/FDX LEDは全ポート同時に点滅します。)

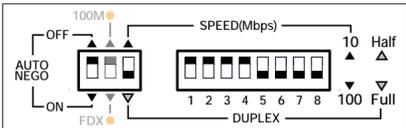
- SPEED(Mbps) / DUPLEXスイッチは、出荷時設定で「SPEED(Mbps)」(上)側になっています。この状態で、10/100・Half/Fullスイッチを使用して、各ポートの通信モードをHalfかFullに選択します。ポート1～4を「Full」(下)側に、ポート5～8を「Half」(上)側(この場合はそのまま)にします。



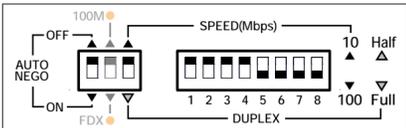
- SPEED(Mbps) / DUPLEXスイッチを「DUPLEX」(下)側にします。これで、ポート1～8の通信モードが設定されました。



- 次に、SPEED(Mbps) / DUPLEXスイッチが「DUPLEX」(下)側にある状態で、10/100・Half/Fullスイッチを使用して、各ポートの通信速度を10か100に選択します。ポート1～4を「10」(上)側に、ポート5～8を「100」(下)側にします。



- SPEED(Mbps) / DUPLEXスイッチを「SPEED(Mbps)」(上)側にします。これで、ポート1～8の通信速度が設定されました。



- 以上で、ポート1～4を「10M Full」、ポート5～8を「100M Half」に設定する手順が終了します。

上記の手順で、一度通信モードと通信速度を設定した後は、再度電源を入れなおしてもポートモード設定スイッチの最終設定が有効となるため、各ポートは前回の手動設定で動作します。また、ポートモード設定スイッチは、設定内容がただちに反映されるので、設定を変更する際に電源を入れなおす必要はありません。

### 接続手順

- 本体背面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。
- ネットワークに接続する端末に、10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。
- 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。
- 本体前面のPOWER LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続されていれば、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

## カスケード接続

カスケードポート(ポート8)を使用すると、ケーブルをクロスタイプに変更せずに、簡単にカスケード接続を行うことができます。

また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

(ただし、カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。)

本製品とリピータやスイッチを接続するUTPケーブルの長さは100m以内です。

### スイッチを押す

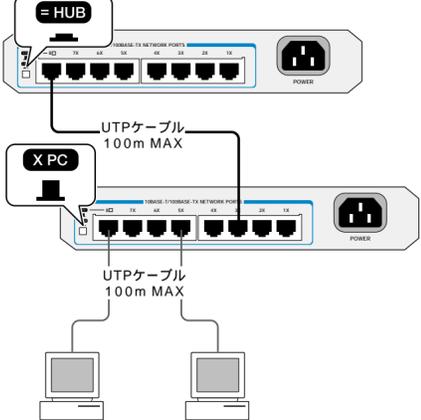


図 2 カスケード接続の例

### 接続手順

- 本体背面のカスケードポート(ポート8)にUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。

- カスケード切替スイッチを「= HUB」(MDI)に設定します。

- UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を、接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。接続先が同一製品のカスケードポート(ポート8)の場合は、接続先のカスケード切替スイッチを「X PC」(MDI-X)に設定します。

## トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

### POWER LED は点灯していますか？

POWER LED が点灯しない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

### LINK/ACT LED は点灯していますか？

LINK/ACT LED は接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合は、次のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。

また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内です。

カスケード切替スイッチを確認してください。本製品のカスケードポート(ポート8)を使用して、リピータやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のカスケード切替スイッチを「= HUB」(MDI)に設定してください。

本製品のカスケードポート(ポート8)同士をカスケード接続する場合は、一方を「= HUB」(MDI)に、もう一方を「X PC」(MDI-X)に設定します。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

## 製品仕様

|            |   |
|------------|---|
| サポート規格     | IEEE802.3 10BASE-T /IEEE802.3u 100BASE-TX |
| 転送モード      | ストア&フォワード                                 |
| 電源部        |   |
| 定格入力電圧     | AC100～240V                                |
| 入力電圧範囲     | AC90～255V                                 |
| 定格周波数      | 50/60Hz                                   |
| 平均消費電力     | 6.0W(最大 8.0W)                             |
| 平均発熱量      | 5.2kcal/h(最大6.9kcal/h)                    |
| 環境条件       |   |
| 保管時温度      | -20～60                                    |
| 保管時湿度      | 95%以下(ただし、結露なきこと)                         |
| 動作時温度      | 0～40                                      |
| 動作時湿度      | 80%以下(ただし、結露なきこと)                         |
| 外形寸法       | 210(W)×107(D)×38(H)                       |
| 重量         | 670g                                      |
| MACアドレス登録数 | 4096個                                     |
| 適用規格       |   |
| EM規格       | VCCIクラスB                                  |
| 安全規格       | UL1950、CSA C22.2 No.950                   |

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

## ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。

電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

### アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772

月～金(祝・祭日を除く) 9:00-12:00 13:00-18:00

土(祝・祭日を除く) 10:00-17:00

Fax: 0120-860-662

年中無休 24時間受け付け



## 安全のために



### 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

### 分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



### 分解禁止

### 雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



### 異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



### 異物厳禁

### 通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



### ふさがない

### 湿気やほこりの多いところ

油煙や湯気のある場所には置かない  
火災や感電の原因となります。



### 設置場所注意

### 表示以外の電圧では使用しない。

火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



## 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

## 使用しているハードウェアについて

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例) 

## お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

## ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

## おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。ご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2000 アライドテレシス株式会社

## 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

## マニュアルバージョン

2000年10月 Rev.A 初版  
製品 Rev.B1以降に 対応

## 必ずお守りください



取り扱いがていねいに  
落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



傷つけない



## お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で  
誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい  
布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤



強く絞る



使用



お手入れには次のものは使わないで  
ください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



シンナー類

禁止